

HOSEI UNIVERSITY

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

2021
SCHOOL GUIDE



過去も未来も
君たちを支える

伝統

Tradition

自分の可能性に
立ち向かう

挑戦

Challenge

HOSEI UNIVERSITY
JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

揺るぎない伝統のもと 挑戦し続ける

ここから広がる「可能性」
その先にひらかれる「人生」
「HOSEI」の歴史と伝統
ここでこそ育まれる「確かな自分」
伝統は受け継がれる
挑戦を続ける限り

揺るぎない伝統が
君たちの挑戦を
応援してくれる。





Hosei Education

自主自律

自ら考え判断する「自律した人間」を育てる

コミュニケーション能力や問題解決能力を高める

自由な発想で考え、仲間とともにさまざまなことにチャレンジできること。
それが大学付属校である本校の魅力です。身近なことから社会問題まで、自分たちの課題に向き合い、自分たち自身で解決を探る。そんな主体的な学びの場が、ここにはあります。

大学付属校ならではのスクールライフ

受験勉強にとらわれない

クラブ活動、生徒会活動、行事の企画や運営など、自分が本当に打ち込みたいことに全力を注ぐことができます。自分たちで考え、自分たちで創るからこそ得られる達成感。お互いの考えをぶつけ合い、みんなで1つのことを成し遂げていく中で築かれる仲間達との信頼感。決して授業だけでは得られないたくさんの経験は、何事にも代えがたい貴重な宝物になります。



仲間と何かを成し遂げ続ける学校生活

他者や社会と関わる

学校生活のあらゆる場面で求められるのは、生徒が自ら考え、判断し行動することです。そして、自分だけではなく仲間の主体性も尊重しながら、互いに夢の実現に向けて行動していかなければなりません。そこには協調性と、問題解決能力が重要になります。生徒同士や、教員・保護者・地域の方々との対話やコミュニケーションなど、様々な社会生活を体験する中で、成長をはかります。



Student's Voice 01



日々変わっていく環境に臨機応変に対応していく力

高校生徒会長 竹内 治主

2020年度、価値観や環境が今までとは大きく変わってしまった世の中。法政大学高等学校も世の中の移り変わりに大きく影響を受けています。しかし、このような時期だからこそ、時代に即さないルールや行事などを見直し、常に新しい時代に対応した学校であり続けていくべきだと私は思います。私たちの学校が掲げている「自主自律」の精神に則り、生徒一人ひとりが主体性を持って判断し、自主的に行動することを心がけています。より充実した学校生活が送れるよう、生徒自身や先生方が一丸となって協力し合っているところが、この学校の魅力だと私は考えます。

将来につながる基礎を身につける 基礎学力の定着と信頼関係の構築

法政大学での学びやその先の将来を豊かにすることをイメージし、
基礎学力と学習習慣を身につけます。
その過程で、共に学ぶ仲間・教員との信頼関係が築かれます。

Step UP 01

Point 01

基礎学力の定着と学習習慣の確立

基礎学力の定着と学習習慣の確立に向け、英国数の3教科に重点を置いています。国語では「読解」と「表現」の授業を展開し、数学では複数の教員できめ細やかな指導を行う「演習」の授業を用意しています。英語では、ネイティブ教員による英会話や、一部の授業を少人数クラスで展開。中1・中2では、火曜・木曜の放課後に指名補習を行い、計画的に学習する姿勢を育てています。



Point 02

友人や教員、お互いの信頼関係を構築

入学後すぐに行われる「オリエンテーション」では、クラスメイトと様々な企画を通して交流し、その後の人間関係づくりにつなげていきます。さまざまな場面で、自分のことを伝え、仲間のことを知り、深い信頼関係を築いていきます。各学年の先生方は、自分のクラスだけではなく、全生徒の担任という意識を持って指導にあたっています。



中学校教育課程	学年	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	計 34 (36)
		5	4	6	3	6	1.5	1.5	3	2	1	1	(2)	
中学校教育課程	中学1年	5	4	6	3	6	1.5	1.5	3	2	1	1	(2)	計 34 (36)
	中学2年	5	4	5	4	7	1	1	3	2	1	1	(2)	計 34 (36)
中学校教育課程	中学3年	5	4	6	4	6	1	1	3	2	1	1	(2)	計 34 (36)

○2020年4月現在

○学習指導要領の改定などにより、科目名・時間数が変更されることもあります。

○総合的な学習の時間は、短縮授業等の中で行います。

将来を見据えた多彩な授業内容

なりたい自分に向かって具体的に行動する

高校ではコース分けをせず、高校3年間ですべての教科を学習します。
生徒の多様な目標に対応する選択授業を行って、自らの進路を見据えた発展的な学習を通して、
卒業後、自信を持って様々なことに挑戦していく力を育てます。

Step UP 02

Step UP 03

Point 03

より豊かな学習と諸活動の両立

高校では、英数国理社を中心に科目数も増え、各教科の内容がより高度になります。諸活動と両立させながら、家庭学習を確実に習慣づけることを目指します。高校からは約2クラス分の生徒が新たに学年に加わり、新しい刺激を生徒同士が与え合い、学び合うことを目的として、高1から混合クラスを編成します。4月のオリエンテーションで高校生活について共に学び、レクリエーションを通じて友人関係が深まり、団結力も増していきます。

Point 04

進学後の専門的な内容やスキルを先取り

高2・高3では、将来の自分の進路に合わせて、自然科学や人文・社会科学、語学など様々な領域から選択して学習できます。文系と理系の両方の領域から授業を選択することも可能で、マスコミやビジネス、法学や簿記など、大学で学ぶ教養の入門的な内容を学習できるものもあります。また、大学のようにテーマごとにゼミが設置され、文献の輪読や調査、討論・発表などをするものもあり、生徒同士が協力し合って学習を進め、大学進学後の学習を一步リードできます。



選択授業の例

- 【国語】「言語表現法ゼミ」「情報を読む」
- 【数学】「数学とマーケティング戦略ゼミ」「ビジネス」
- 【理科】「理系化学」「理系物理」
- 【社会】「国際関係論入門ゼミ」「現代社会研究」
- 【英語】「原書講読演習ゼミ」「Discussion and Debate」
- 【体育】「ゴルフ基礎」「スポーツと科学」
- 【芸術】「書道」「総合美術」「総合音楽」
- 【技術】「技術と人間」
- 【情報】「プレゼン演習」「簿記演習」

高校	科目														計
	国語総合	世界史A	現代社会	数学I	数学A	生物基礎	英語I コミュニケーション	英語表現I	英語会話	体育	保健	音楽I or 美術I	社会と情報	特別活動	
高校1年	5	2	2	4	2	3	3	2	2	2	2	2	2	1	計 34
高校2年	現代文B	古典B	日本史B	政治・経済	数学II	数学B	物理基礎	化学基礎	英語II コミュニケーション	英語表現II	体育	家庭基礎	必修選択	特別活動	
	3	2	2	2	4	2	2	2	4	2	2	2	4	1	計 34
高校3年	現代文B	古典B	日本史B	政治・経済	数学B	物理	化学	英語III コミュニケーション	英語表現II	体育	必修選択			特別活動	
	2	2	2	2	2	2	2	4	2	3	10			1	計 34

○2020年4月現在

○学習指導要領の改定などにより、科目名・時間数が変更されることもあります。

○高校の総合的な学習の時間は、高2、高3の必修選択科目の中で履修します。



International Exchange

国際交流

コミュニケーション能力を高め国際性を養う

生きた英語と多様な文化を身につけるために

将来、国際社会で活躍するためには、コミュニケーションツールである外国語を身につけることが必要です。本校では英語を「使う」ことで、生きた英語を身につけることに重点を置いています。また、英語だけでなく外国のさまざまな文化に目を向けることも重要です。その機会として、本校では生きた英語の環境に身を浸しながら、多様な外国の文化に触れる海外研修プログラムを中高それぞれで実施しています。実際に現

地へ行き、日本とは異なる多様な文化にも触れる体験から、一人ひとりの可能性を広げ国際性を養います。さらに、本校では毎年世界各地から留学生を受け入れ、授業や行事を通じて、互いの文化を理解し合う活動も行っています。受験だけにとらわれない付属校だからこそ、国際社会と交流する機会を活かし、生きた英語と多様な文化を身につけることを目指しています。

海外研修プログラム

Program 01

中学 夏期カナダ研修

2022年度から中学3年生の希望者を対象に、カナダでホームステイをしながら現地校に2週間通います。現地の生徒たちがバディとして授業やさまざまな活動に参加し、より楽しく効果的なものにしていきます。英語力のみならず、社会性、国際性を育む機会となります。



Program 02

高校 認定海外留学奨学金制度

本校の報奨制度により、高校2・3年の成績優秀者がドイツのオースターギムナジウムに派遣されます。

Experience Note



ホストファミリーはとても優しく温かい家庭で、2週間の滞在にもかかわらず手作りのケーキを何度も作ってくれました。家の周りには自然が溢れており、自転車ですぐのところにはバルト海と美しいビーチが広がっていました。休日にはハンブルクとリュベックに連れて行ってもらい、観光もたくさんできました。僕自身、日本でドイツからの留学生を2度受け入れた経験があり、彼らと再会できたのもうれしかったことです。学校の授業はドイツ語なので大変でしたが、それもいい経験になりました。また、コミュニケーションツールとして英語で外国人と話すのも不思議な感覚でした。今回のドイツ留学を通して、言語・異文化・食文化など、様々な体験ができました。留学をサポートしてくださったすべての方々に感謝しています。

2019年度卒業 大和田 弥音

高校 現在行われている夏期カナダ研修に関しては継続して行いますが、2022年度から場所や時期等の変更を検討中です。

国際交流体験記

武田 日菜子 (2019年度オーストラリアグローバルサミット参加)

高校2年の春、オーストラリアで開催されるグローバルサミットに参加しました。この体験は自分にとって、とても有意義で刺激的なものでした。

サミットでは、10ヶ国から来た高校生が集まってグループに分かれ、国際問題を英語で討議します。当初、私は周囲の英語力や政治に関する知識の量に圧倒されてしまいました。このままではいけないと思い、漫画など共通の話題でメンバーと仲を深めると、徐々に討議での発言を増やすことができました。また、国際問題を様々な国の視点から観察したことで、物事を考える上での視野が広がりました。日本との違いに戸惑う毎日でしたが、ここでしか味わえないことや価値観に触れ、貴重な経験ができたと思います。

この体験を通して、グループワークに取り組む姿勢や英語の勉強方法・パソコンの扱いなど、これまで気付かなかった自分に不足している点が明確になりました。現在、私は必修選択授業でパソコン検定対策や社会系のゼミを取ったり、英語プレゼン大会に参加したりするなど、積極的な学校生活を送っています。大学では語学に加え、世界の文化や政治を研究し、将来は海外で日本に貢献できるような仕事をしたいです。

遠藤 舞花 (2019年度長期海外留学生)

私は、高校1年次にカナダへの留学を決めました。カナダでは、10ヵ月間、現地の学校に通い、生活を送りました。日々新しい出会いと発見の連続で、様々な国の人々と交流する機会はとても新鮮でした。

もちろん、新しい環境の中で、はじめは言語の違いに苦戦したり、親元を離れて1人きりで生活したりすることには、不安や戸惑いがありました。しかし、その気持ちを乗り越えて自分から積極的に行動すればするほど、周りの人の温かさに気付くようになりました。このたくさんの人々との交流を通して学んだことは、英語の勉強と同じくらい大きなものでした。そして、ルームメイトとの出会いが、何よりも大切でかけがえのないものです。

この10ヵ月を通して成長することができた点は、自ら一歩を踏み出して新しいことに会い、チャレンジしたこと。今後の自分の人生にいかすことのできる、とても貴重な経験ができました。

法政大学
推薦資格取得者
[2019年度卒業生 237名]

229名
在籍者の96.6%

法政大学進学実績

法学部	法律学科 18	政治学科 6	国際政治学科 6	哲学部	哲学科 4	日本文学科 7	英文学科 5	史学科 4	地理学科 5	心理学科 3	経営学部	経営学科 12	経営戦略学科 8	市場経営学科 8	国際文化学部	国際文化学科 9	人間環境学部	人間環境学科 12	キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科 11	デザイン工学部	都市環境デザイン工学科 3	システムデザイン工学科 3	グローバル教養学部	グローバル教養学科 4	経済学部	経済学科 18	国際経済学科 7	現代ビジネス学科 6	社会政策科学部	社会政策科学科 2	社会学部	社会学科 7	メディア社会学科 8	福祉コミュニティ学科 3	現代福祉学部	臨床心理学科 3	スポーツ健康学部	スポーツ健康学科 5	情報科学部	コンピュータ科学科 3	デジタルメディア学科 3	機械工学科(機械工) 1	機械工学科(航空操縦) 0	電気電子工学科 1	理工学部	応用情報工学科 2	経営システム工学科 1	創生科学科 1	生命機能科学科 3	生命科学部	応用植物科学科 0	環境応用化学科 0
-----	---------	--------	----------	-----	-------	---------	--------	-------	--------	--------	------	---------	----------	----------	--------	----------	--------	-----------	------------	---------------	---------	---------------	---------------	-----------	-------------	------	---------	----------	------------	---------	-----------	------	--------	------------	--------------	--------	----------	----------	------------	-------	-------------	--------------	--------------	---------------	-----------	------	-----------	-------------	---------	-----------	-------	-----------	-----------

法政大学進学者 205名



市ヶ谷キャンパス 法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン・GIS・デザイン工学科
多摩キャンパス 経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部
小金井キャンパス 理工・生命科学・情報科学部

法政大学への推薦入学基準 2020年度現在

Standard 01
高校3年間の
総合成績

Standard 02
英語資格試験
英検・TOEIC Bridge、
TOEFL など

Standard 03
基礎的思考力
確認テスト



To Next Stage

進学

法政大学への高い進学率

付属校のメリットをいかし、進路を切り拓く

大学付属ならではの進路指導——高校の段階から、大学での学びや現役の大学生にふれ、将来の自分をイメージし、「なりたい自分」に向かって行動を開始します。

Merit 01

ウェルカムフェスタ



高校1年生の7月に、法政大学の一員となったことを歓迎し、高校3年間の学びをより豊かにしてもらう目的で、付属3校の生徒とその保護者を対象に行われます。生徒に対しては2部構成となっており、第1部では法政大学の歴史を学びます。第2部では現役の大学生から高校での学びの経験談を聞きます。保護者に対しては、キャリアセンター長を務める大学教授から、就職に関する講演が行われます。

Merit 03

OB・OG 講演会



高校2年生の冬に実施しています。法政大学に進学した卒業生を各学部から招き、どんな夢や目標を持ち、大学でどんなことを学んでいるのか、そのために高校時代にどんなことが大切なのかなどをテーマに講演してもらいます。「なりたい自分」をイメージするためには、大学で活躍している卒業生の姿や話は大いに参考となります。これをきっかけに、自分の進路をより具体的なものにし、高校3年次の学習につなげていきます。

Merit 02

法政大学キャンパス見学会

高校1年生の冬に実施しています。市ヶ谷・多摩・小金井の3キャンパスを見学するとともに、大学とはどのようなところであり、どのようなことを学ぶのか、すべての学部から説明を受けます。法政大学や様々な学問分野を知ることで、自分の興味関心や可能性をはじめ、高2・高3の選択授業で学びたいことや進路を考えるきっかけになります。

Merit 04

進路情報室

高校卒業後の進路を決定していくにあたって、生徒一人ひとりに合わせてサポートできるよう進路情報室を設置しています。ここでは教員や職員と面談・相談することができ、幅広い分野の中から、自分にあった進路選択ができるようにサポートしています。法政大学の各学部の研究内容をはじめ、他大学入試に関する情報など、様々な資料や情報を生徒に提供しています。

法政大学総長からのメッセージ

法政大学の付属校で「自由を生き抜く実践知」を学んで下さい

皆さんはどういう学校生活を送りたいと思っていますか？ どのような将来を夢見ていますか？ 法政大学と付属校は、入学する皆さんの学びについて共通の目標をもっています。それは「大学憲章」に書かれています。

法政大学憲章には「自由を生き抜く実践知」というタイトルがついています。それを「約束」と呼んでいます。皆さんと社会へ「法政大学と付属校では、自らの自由を生き抜いていく知性を育てます」という約束です。「実践知」とは、それぞれの人が生きる場所で、理想をめざして発揮する知性です。そして学校やご家庭で、「自由」とは何かを考えていただきたいと思っています。自由とは、周囲の人々や社会とともにありながら、それらに押しつぶされることなく、離れることもなく、自分自身であり続けることです。自らの自由を生きることを理想とし、法政大学付属校で実践知を学んで下さい。

法政大学は毎年、志願者が多く、グローバル化も進んでいます。就職に強い大学としても定評があります。付属校では、飛躍し続ける法政大学の講義やゼミを体験することができます。ぜひ付属校に入学し、大学とはどういうところが在学中に存分知って、「自由」と、そして自分の将来について、考えながら学んで下さい。



法政大学 総長
田中 優子

他大学への進学

現行の推薦制度では、法政大学への推薦権を保持したまま、一定の条件のもとで、他の国公立大学を受験することが可能です。生徒一人ひとりの進路選択を、担任や進路情報室と連携してサポートしています。

2019年度 他大学合格実績抜粋

東京都立大学 東京理科大学 慶應義塾大学 明治大学
青山学院大学 上智大学 中央大学 武蔵野美術大学
埼玉医科大学 立教大学 学習院大学 など



Hosei Table Talk

法政座談会

法政中高の魅力

一貫校だから出来ること

法政中高の魅力とは何なのか、そして法政中高生はどんな学校生活を送っているのか、現役の法政中高生に話してもらいました。

—— 法政中高の魅力・雰囲気を教えてください。

齊藤：中学・高校問わず、みんな元気です。学年内だけではなく、先輩後輩のつながりも多く、学校全体で仲が良いと思います。

青野：私は行事がたくさんあるところが好きです。行事を通してクラスの仲が深まり、団結力も生まれます。

清水：大学受験に縛られず、自分のやりたいことや学びたいことに全力で取り組める環境があるところだと思います。

木村：どんな行事においても先生のサポートを受けつつ、自分たちが中心になって企画・運営をしています。委員会は定期的に話し合いを行い、その内容をクラスで共有することで、クラス全員が積極的に取り組むことができ、やりがいを感じます。

—— 学校生活で思い出に残っていること

齊藤：高校2年生のシンガポール修学旅行です。日本との関係を学んだり、言葉が通じない中でコミュニケーションをとったりなど、とても貴重な経験ができました。また、実行委員長を務めていたため、仲間をまとめる大変さも経験することができ、とても成長できました。

青野：私は鈴掛祭で有志企画に参加しました。友人とたくさん練習をして、成功させることができ、応援してくれた友人からも褒めてもらい、青春を感じることができました。

井上：僕はサッカー部に所属していますが、2年生のときに都大会に出場したことです。初めて自分に力が付いたと自信ができました。今は部長を任せてもらっており、部員や先生の期待に応えたいと頑張っています。

—— 学校生活で「中高のつながり」を感じるのとはどんなときですか？

齊藤：部活によっては中学生と高校生が練習試合を行ったり、一緒に練習することもあります。鈴掛祭でも高校生が中学生ブースに行き、コミュニケーションをとっている姿を見ました。

木村：ブラスバンド会は中高一緒に活動しています。そのため、先輩の存在は大きく、助けてもらうことや学ぶことがとても多いです。鈴掛祭に向けても毎日一生懸命練習をしたことで全員の団結力が上がり、想いが一つになったことで本番を終えた後の達成感は感動的でした。

—— 高入生から見る学校生活はどのような印象ですか？

青野：内部進学した子が話しかけてくれたのですぐに打ち解けられました。今では内進生も高入生も関係なく、男女間も仲良く毎日がとても楽しいです。

清水：僕も内部から進学した生徒はフレンドリーな生徒が多いと思います。高入生の生徒もすぐにたくさんの生徒と仲良くなれると思います。

—— 夢に向かって頑張っていることはなんですか？

井上：普段の勉強を疎かにしないことを心がけ、自分のやりたいことや将来の選択肢を広げるために色々なことにチャレンジしています。

清水：大学で環境問題について勉強したいと思っています。今は部活と勉強の両立ができるようにやるべき勉強の優先順位を決めて、勉強の計画をしっかりと立ててから取り組むようにしています。将来は環境問題の解決に貢献できるような仕事に就きたいと思っています。

齊藤：将来は人を導いたり、自分の言葉で

人を動かす仕事に就きたいです。その夢に向け、中学生から行事の実行委員を務めたり、部活で部長として後輩たちにアドバイスをするなど、夢に向けて日々努力をしています。

—— これから入学してくる後輩へメッセージをお願いします。

齊藤：法政中高は先生方が進路について親身になって相談に乗ってくれます。行事も全員が全力で楽しむので雰囲気が最高です。法政に通えば卒業するときに心から楽しかったといえると思います。

青野：勉強や部活、友人関係で心配なこともあると思いますが、サポートしてくれる先輩もいますし、部活で出会った友人など、一緒に過ごした友人は大切な仲間になります。勉強、部活に励みつつ、学校生活を楽しんでほしいです。

清水：新しい生活に不安になることはあると思いますが、法政中高での生活はとても楽しいものになると思います。

井上：法政中高は6年間を通して何かに全力で打ち込める環境が整っており、良い経験が間違いなく出来ます。一緒に法政で成長しましょう。

木村：法政中高にはあなたを身近で支えてくれる先生や先輩、友達がたくさんいます。法政中高で過ごす6年間は有意義で興味あふれる学校生活となるに違いありません。

Students



中学3年
木村 有
ブラスバンド会



高校3年
齊藤 健太
硬式テニス部



中学3年
井上 航
サッカー部



高校2年
清水 時央
硬式野球部



高校3年
青野 遥
ソフトテニス部

Interview
with
Graduates

01

まずは夢を持つこと
そしてそれに向かって
行動していくこと

住友商事株式会社 2012年度卒業

久保 頼希

●在学中に印象的だったこと

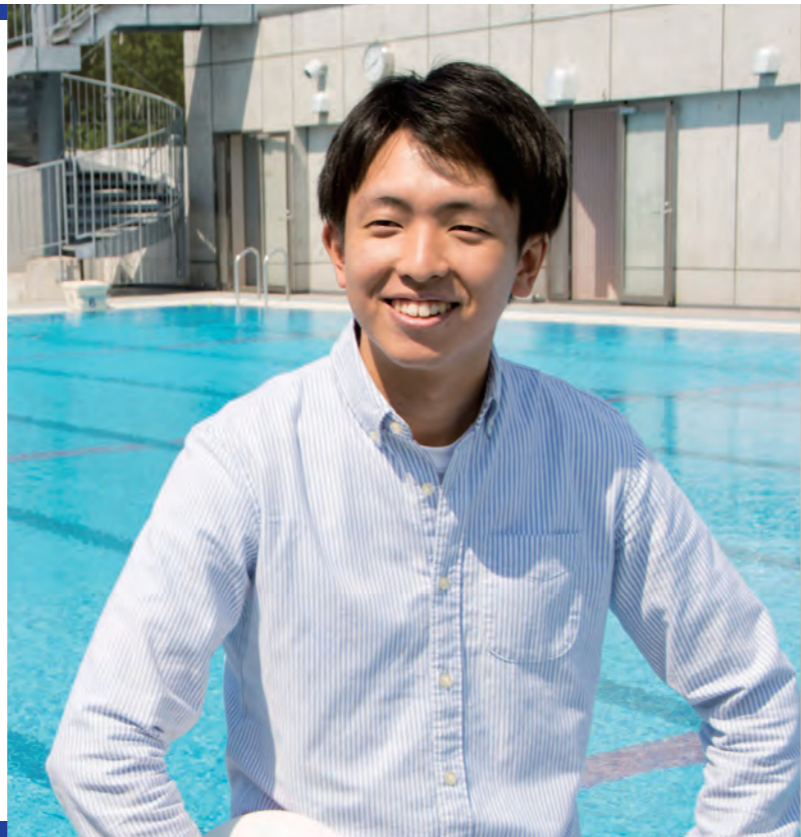
様々な授業、テスト、水泳部での活動、卒業論文の執筆など思い出は多いのですが、オーストラリアでのホームステイや、海外修学旅行（シンガポール）、ドイツ派遣等海外に触れる機会が多かったことにとっても感謝しています。海外に興味を持つ要因の1つになったと思います。

●現在の進路を志望した理由

大学進学後、留学などの経験を経て海外で国際協力を携わるのが将来の夢となりました。民間企業の立場から、自社・顧客・社会にとってwin-win-winのビジネス（＝国際協力）を行いたいと思ったことがきっかけで、社会の根底を支える社会インフラに携わる業界を志望し、最終的には現在の会社に入社を決めました。

●在学中に経験して、今の職業に活かされていること

部活動と学校外のスイミングクラブの活動を両立するには多くの葛藤がありました。最終的にはどちらもやり切ると腹を決めたわけですが、この時の考え方や、その後の行動は今も大切にしています。出来るだけ全てやるということを意識して生活しています。



Interview
with
Graduates

03

やってみたいことは
どんなに小さなことでも
チャレンジすることが大事

株式会社バンダイ 2012年度卒業

福井 菜摘

●在学中特に印象に残っている出来事

実行委員としてシンガポール修学旅行の実施要項作成に関わりました。きちんと読んでもらえるよう内容を工夫して作成すると、皆楽しそうに真剣に読み込んでくれました。この経験から日々の生活に関わる商品をもっと面白く豊かなものにしたと考える、現在の就職先の玩具メーカーを志望しました。現在は子どもの日常生活を応援できるような商品づくりを目指し、企画開発を担当しています。

●在学中に経験して今の職業に活かされていること

自分の考えをまとめ、伝え、実行するための思考力です。生徒主体の学校行事や部活動の中で先生方は生徒同士で考える機会をたくさんいただきました。その結果、社会人としてのベースの考え方を高校時代の経験から身につけることができました。また選択授業やゼミのプログラムは幅広い選択肢から興味のある分野を選択することができたおかげで、自分が将来何をやりたいのかを早めに明確にすることができました。大学の付属校だからこそ、本当に自分がやりたいことを探す時間と気づきかけがたくさんありました。



Interview with Graduates

卒業生インタビュー

帰ってきたOB・OG

法政大学中学高等学校の魅力とは？

2万人を超える卒業生を輩出している法政大学中学高等学校。その中には、自分の中高時代を懐かしみつつ、再び母校を訪れるOB・OGも多くいます。まさに、校歌にある「よき師よき友 つどひ結び」の精神。彼らが、なぜ再び母校に帰ってきたくなるのか、その魅力とは何か——卒業生に聞いてみました。

Interview
with
Graduates

02

逆境に負けない忍耐力
何事にもチャレンジする精神
たくさんのものを学びました

2016年度卒業 法政大学 法学部 国際政治学科4年

岡戸 咲歩

●在学中、特に印象に残っている出来事

高校時代の硬式テニス部での活動です。チームメイトと毎日切磋琢磨し合い、先生やコーチからはプレーだけでなく、礼儀やマナーの大切さを学びました。どんな時も諦めない仲間と一生懸命取り組んだことで、逆境に負けない忍耐力が身に付いたことを実感します。

●現在、大学で学んでいること

高校生の時に修学旅行でシンガポールとマレーシアを訪れたことがきっかけで、現在東南アジアの政治経済に関することを学んでいます。毎年海外研修を行っていて、去年はインドネシアの日本語学校を訪問し、東南アジアの人々と交流を深めました。

●在学中に学んだことの中で現在活かされていること

何事に対しても、チャレンジする精神です。高校3年生の時に、イギリスのEU離脱問題をテーマとした卒業論文を書きました。大学の教授に直接お話を伺う機会があり、とても新鮮でした。何事に対しても躊躇せずに挑戦することで、新たな出会いや大きな発見が必ずあります。この精神は、社会に出てからも役立つ力だと確信しています。



Interview
with
Graduates

04

この学校は私に
最高の青春を
与えてくれました

2016年度卒業 法政大学 理工学部 経営システム工学科4年

梅澤 太一

●在学中、特に印象に残っている出来事

思い出はたくさんありますが、特に印象に残っているのは毎日の授業です。中高合わせて4年間級長をやらせてもらった立場から見ても、すべてのクラスが楽しく満足できるものでした。

●現在の進路(学部・学科)を志望した理由

他大受験をするか悩んでいた時、法政大学に興味のある分野に関する研究室を見つけたからです。現在その研究室に所属し数学を中心にプログラミング言語やデータ解析などを勉強しています。

●在学中に学んで現在活かされていること

高校3年で卒論を書くのですが、自分でテーマを考え、興味を持ったものを考察し、時には専門家を訪問し、結論を出す。本当に大変だったけれど、この経験はとても生かされていると思います。

●これからの人生において目標としていること

どんな業界で働くとしても、自分がこの学校での様々な経験を通して満足感を味わうことができたように、満足感を提供し、他の人とも共有したいと思えるようなビジネスをするのが目標です。






School Events
 イベント
学校行事
 自由な発想で創り上げる



Challenge Spirit

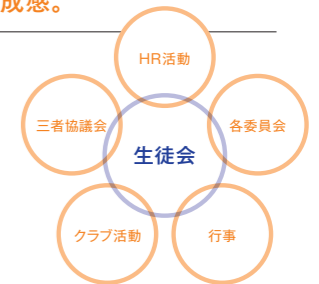
さまざまな活動にチャレンジし 主体性・創造性を育む



自分たちの力で創り上げる伝統

「自由と進歩」「自主自律」の精神で積極的に活動、仲間とともに創り上げる達成感。

本校の多くの行事は、生徒が実行委員会を組織し、主体的に企画や運営に取り組んでいます。生徒主体の活動の中心にあるのが、生徒会です。ホームルーム活動、各委員会、行事、クラブ活動が行われ、学校生活の充実をはかっています。



Events Line up

行事紹介

中学 陸上競技大会

種目決めなど準備・運営、生徒が主体となって行います。クラス対抗の競技で、団結も高まります。



スポーツ大会 高校

生徒実行委員会が競技を決めて行います。毎年、大きな声援のもとで熱戦がくり広げられています。



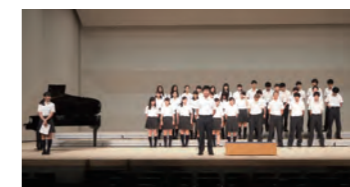
中学 鈴掛祭(文化祭) 高校

アイデアを出し、協力し多彩な企画が完成するこの行事は、もっとも「法政らしさ」があらわれます。



文化行事 高校

近年は合唱を行っています。練習して完成したハーモニーは美しく、人々を魅了します。



中学 スキー教室 高校

志賀高原、菅平高原で実施。インストラクターの丁寧な指導のもと、雪景色の中を滑ります。



中学 修学旅行 高校

中3は広島・長崎。高2は沖縄からシンガポール。自分の生き方や社会について考えを深めます。



- 4月** オリエンテーション(中1) **5月** 生徒総会
6月 陸上競技大会 **7月** 林間学校(中2)
9月 鈴掛祭 **10月** 芸術教室 **12月** 東京ウォーキング(中1) / フィールドワーク(中2) / 修学旅行(中3)
1月 スキー教室(中1)

- 4月** オリエンテーション(高1)
5月 生徒総会 **6月** スポーツ大会
7月 文化行事/ウェルカムフェスタ(高1) **9月** 鈴掛祭
12月 法政大学キャンパス見学会(高1) / OB・OG講演会(高2)
1月 スキー教室(高1) / 修学旅行(高2)

Student's Voice 02

多くの出会いを通して人間性を磨く

法政大学中学校は「自由と進歩」という校風のもと「自主自律」を教育目標にかかげています。この学校での自由というのは何でも自分勝手にしていいという意味ではなく、自分で考え責任をもって行動するという意味です。その中で普段から私たちは、自主的に考え、話し合い、行事や学校生活をよりよいものにしていきます。自分たちの考えのもと、同級生、先輩後輩、先生方、高校の先輩方と幅広い交流の中で自分の人間性を培えるところがこの学校の魅力だと思います。



中学生徒会長
本田 拓




School Life
 学校生活
スクールライフ
 「なりたい自分」に向かって



Environment

付属校の環境をいかし 豊かな日々を送る



大学での学びを見据えた教育
計画的な学習プログラムのもとに
将来を見据えた学力やコミュニケーション能力を養う

自由な発想で考え、仲間とともにさまざまなことにチャレンジできること。それが大学付属校である本校の魅力です。行事、生徒会活動、クラブ活動はもちろんのこと、日々の学習や生活も含めた様々な場面で、自分の頭で考え、判断し、行動する力を養います。生徒たち自らが仲間と共同して企画し、考え、運営する中で様々なことを学び、成長していくことを重んじています。

One day Schedule

法政中高の1日 ※時間割はイメージです

 **8:40**
1 限目 理科

中学では付属校らしく、高校や大学につながる基礎をかため、高校ではより専門的な内容になります。

 **9:40**
2 限目 英会話

ネイティブ教員との英会話。中学では生きた英語の獲得を目指し、高校ではプレゼンテーションも行います。

 **10:40**
3・4 限目 必修選択授業

高校では将来を見据え、多彩な授業の中から選択します。選択授業のなかには、大学で学ぶ教養の入門的なものや、ゼミ形式のものがあり大学進学後の学習を一步リードできます。(高2は週4時間、高3は週10時間)



 **12:30**
お昼休み

中学生は教室で、高校生は教室や明るい雰囲気のレストランでランチタイムを過ごします。

 **13:10**
5 限目 国語

中学では読解と表現に分け、高校では古典と現代文分野において、より高度な解釈を目指して取り組んでいます。

 **14:10**
6 限目 数学

基礎的な計算力と理論的な思考力を身につけます。更に将来を見据えた知識や学力を身につけることを目指します。

 **15:00**
課外活動

受験にとらわれることなく部活動や委員会活動等に真剣に取り組んでいます。



Student's Voice 03

部活動を通じて感じたこと

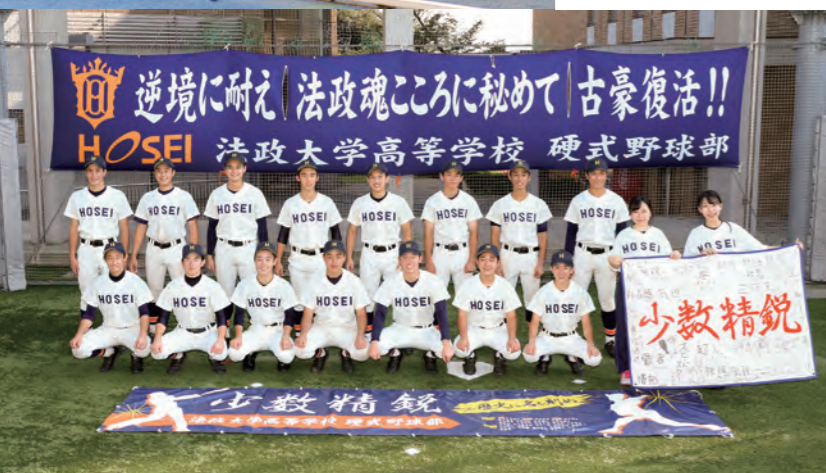
私はバスケットボール部に所属しています。私が部活動を通じて学んだことは、努力し続けることの大切さです。日々の練習の中で努力すれば、相手に思いやりのあるパスが打てたり、正確なシュートが打てるようになったりして、チームに貢献できることに繋がると感じます。努力を続けていくことは、バスケットボールだけでなく普段の生活の中でも大切なことだと思います。今後もこのことを忘れずに普段の生活にもいかしていきたいです。



中学女子バスケットボール部
秋元 優那




Club Activities
 部活動
クラブ活動
 深まる仲間との絆



Bonds with fellows

付属校ならではの環境で 新たな自己を発見する



課外活動に心置きなく打ち込める環境
学年を超えた人間関係から多くのことを学びます。

クラブ活動は、単なる趣味の延長ではなく、クラブ活動でなければ得られない多くの経験や学びがあります。学年を超えた集団での活動は、人間関係も広がり、また強い絆で結ばれた仲間を見つけたり、協力しながらやり遂げる喜びを味わうこともできます。また根気強くやり遂げる強い心を培うこともできます。クラブ活動や課外活動などに主体的に取り組み、新たな自分を発見して、自分の可能性を広げることができます。クラブ活動などを通じて自分を客観的に見つめ、これからの学習や生活、将来の進路を考えます。

Club Line up

クラブ紹介

 野球部	 サッカー部	 バレーボール部	 ラグビー部
 プラスバンド会	 美術部	 演劇部	 茶道部

体育系			文化系	
<ul style="list-style-type: none"> ■ アイスホッケー部(高校) ■ 硬式テニス部(高校) ■ サッカー部 ■ スキー部 ■ チアリーディング部(高校) ■ ラグビー部 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 弓道部(高校) ■ 硬式野球部(高校) ■ 山岳部(高校) ■ ソフトテニス部 ■ バスケットボール部 ■ 陸上競技部(高校) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 剣道部 ■ ゴルフ部(高校) ■ 水泳部 ■ バレーボール部 ■ 野球部(中学) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 英語研究部 ■ 音楽部(高校) ■ 茶道部 ■ 美術部 ■ 放送会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 演劇部 ■ 華道部 ■ 写真部(高校) ■ プラスバンド会 ■ 新聞会

Student's Voice 04

練習も楽しむ時も全力で

私は高校男子バスケットボール部に所属しています。楽しむ時は全力で楽しみ、真剣に集中するべき時は集中し、メリハリをつけて日々活動しています。部活動の魅力は1つの目標をみんなで目指せることです。その目標を達成した時の達成感と喜びは、何物にも代えられません。さらに、部活動の中では目上の方々との人間関係を学べたり、「自分が今、何をすべきなのか」などを考える機会も多々あります。バスケットだけではなく、普段の日常生活においても、とても有意義なことが学べる場であると思います。



高校男子バスケットボール部
中村 昂幹

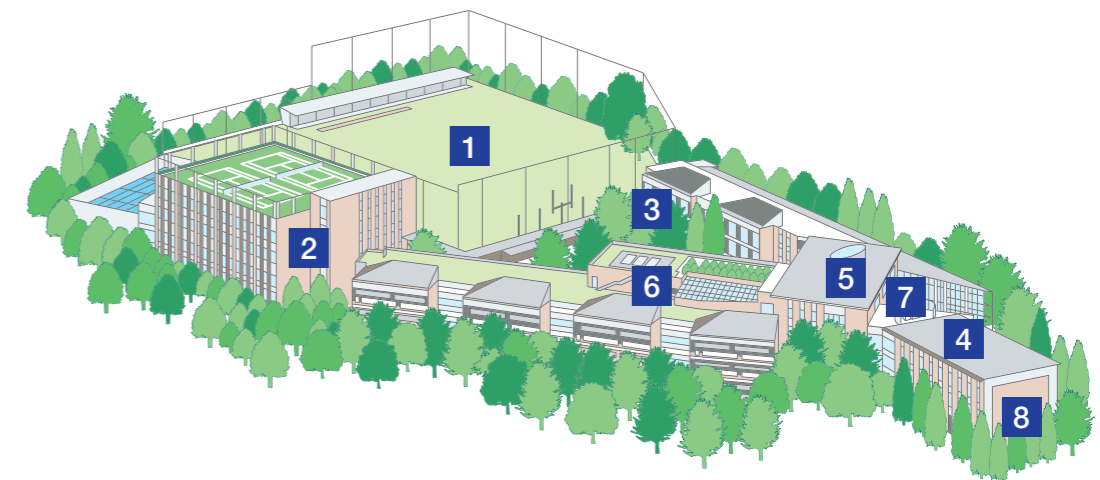



Campus
 キャンパス

施設紹介
 しっかりと整備された環境



豊かな緑と光に囲まれた 付属校らしい学びに最適な環境



- | | | | |
|---|---|---|--|
| <p>1 グラウンド</p> <p>整備された人工芝。体育の授業や部活動などで、汗を流します。</p>  | <p>2 体育館</p> <p>地下1階から4階屋上までアリーナやプールなど様々な施設があります。</p>  | <p>3 中庭</p> <p>緑にあふれ、多くの生徒たちの憩いの場となっています。</p>  | <p>4 オレンジホール</p> <p>さまざまな行事や各学年の集会などで使われる多目的ホールです。</p>  |
| <p>5 図書館</p> <p>自然の光が差し込み、明るく開放的。CDやDVDの視聴などもできます。</p>  | <p>6 マルチメディア教室</p> <p>情報や英語、選択授業などで使用。オープンスペースとしても開放します。</p>  | <p>7 購買</p> <p>全面ガラス張りの開放的なスペースで昼食を楽しむことができます。</p>  | <p>8 カウンセリングルーム</p> <p>生徒や保護者の方々をサポート。さまざまな相談や話ができます。</p>  |



心安らぐ場所で、養護教諭が生徒や保護者をサポート。

法政大学中学高等学校の生徒達は、元気があり、人なつこい印象があります。保健室では、そんな法政中高の生徒たちが心身共に健やかに過ごせるよう毎日サポートしています。保健室は心安らげる場所ですので、生徒達は、学習中心の学校生活を過ごす中で、合間に気軽に利用しています。また、思春期の生徒達が抱える悩みをより専門的にアドバイスできるよう、カウンセリングルームも設置しています。家族や友達、先生には話せない悩みも安心して相談できます。心身の健康を支えるために必要な食事の摂り方、運動や睡眠、人間関係の作り方などについて、「保健だより」を発行して学習できるようにもつとめています。

付属校だからこそできる、主体的・創造的な人間教育

本校は、長年にわたり「自主・自律」を掲げてきています。これは、併設大学である法政大学の理念「自由と進歩」の精神と響き合うもので、この学風の中から生徒自身が学び、考え、行動する本校の伝統がつくられてきました。

市ヶ谷での創立以来、長い歴史の中で、多くの若者が本校に学び、卒業生は2万数千人。そして、今、ほぼ1,100名の中高生が、豊かな自然環境に恵まれたキャンパスで、学びのときを過ごしています。

本校はその名の通り、中学と高校が接続しており、同年齢はもちろんのこと、先輩や後輩との出会いを通じて成長する機会も少なくありません。

中学・高校時代は、仲間との友情の輪の中で、大きく成長する時期です。中高生が潜在的な可能性をもっているからこそ、大切な思春期・青年期をどのような環境で過

すのか、生徒一人ひとりにとって、とても大切なことだと考えます。そうした環境をいかに整えるか、私たち法政大学中学高等学校は、努力を重ねています。

目を転じれば、大きく変わりつつある世界があります。この世界にあって私たちは何を学びとるべきか。「あなた方はいま何をしているのか、教えてほしい」という先人たちの声が聞こえてきます。本校が、そうした現代的課題に一步步追っている学びの場でもあれば、素晴らしいことです。

受験生や保護者の皆様には、法政大学の付属校という条件を活かした豊かな学びの場である本校の特徴に目を向けていただければ幸いです。そして、今後とも本校へのご理解とご支持・ご志望をいただけますよう、お願い申し上げます。

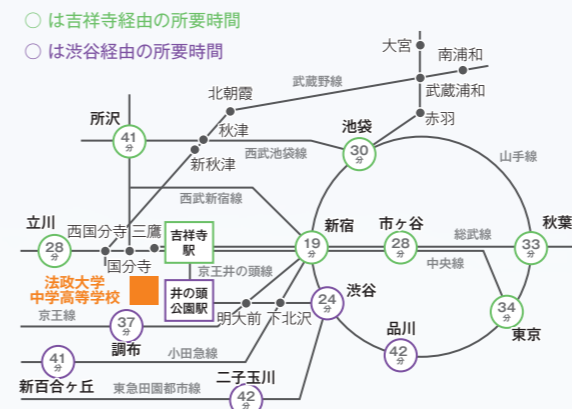
教育目標

- 1 日本国憲法が定める基本的人権を尊重し、平和で民主的な社会の形成に資する主権者を育てる。
- 2 法政大学の校風として育まれた「自由と進歩」を体現する主体的で創造的な人間を育てる。
- 3 豊かな知性と教養、健康な心と身体、思考力と判断力を有する人間を育てる。

法政大学中学高等学校
校長 岡 稔彦



路線図



○は吉祥寺経由の所要時間
○は渋谷経由の所要時間

※井の頭公園駅平日 AM 8:00 前後到着までの乗り換え時間を含めた所要時間です。
※調布からは京王線「明大前駅」経由、新百合ヶ丘からは小田急線「下北沢駅」経由。

アクセスマップ



交通案内

徒歩の場合

- 京王井の頭線「井の頭公園駅」下車 徒歩約12分
- JR線「吉祥寺駅」下車 徒歩約20分

バスの場合

- JR線「三鷹駅」より「久我山」行き 京王バス約9分「西ヶ原」バス停下車 徒歩約4分
 - 京王井の頭線「久我山駅」より「三鷹」行き 京王バス約10分「西ヶ原」バス停下車 徒歩約4分
 - 京王線「調布駅」より「吉祥寺」行き 京王バス・小田急バス約25分「下連雀」バス停下車 徒歩約12分
- ※バスの所要時間は時間帯、交通状況により異なります。

中学入試情報

2021年度 入試日程

- 2月1日(月) 男女約50名
- 2月3日(水) 男女約50名
- 2月5日(金) 男女約40名

入試イベント

秋の学校説明会(要予約)

- 10月 3日(土) 10:30~12:10
- 10月12日(月) 10:30~12:10
- 10月24日(土) 10:30~12:10
- 10月31日(土) 10:30~12:10
- 11月13日(金) 10:30~12:10

※すべて同一内容。本校オレンジホールにて開催。

入試直前対策講習会(要予約)

- 12月12日(土) 8:30~

校内施設見学会(要予約)

- 12月19日(土) 13:00~15:00
- 1月 9日(土) 13:00~

高校入試情報

2021年度 入試日程

- 【推薦入試】1月22日(金) 男女40名
- 【一般入試】2月10日(水) 男女52名

入試イベント

秋の学校説明会(要予約)

- 10月 3日(土) 14:30~16:10
- 10月10日(土) 13:30~15:10 / 15:30~17:10
- 11月14日(土) 13:30~15:10 / 15:30~17:10

※すべて同一内容。本校オレンジホールにて開催。

沿革 HISTORY

- | | | | |
|--------------|------------------------------|--------------|--|
| 1936 (昭和11)年 | 法政中学校・法政大学商業学校、市ヶ谷(現大学校地)に創立 | 1990 (平成 2)年 | 中学3クラス、高校6クラスの体制を開始 |
| 1946 (昭和21)年 | 吉祥寺に移転 | 2006 (平成18)年 | 新制服順次導入(中1・高1より) |
| 1947 (昭和22)年 | 旧制法政中学校に新学制による中学校を併設 | | 文部科学省から「スーパーイングリッシュランゲージハイスクール(SELHI)」に指定(~2008年度) |
| 1948 (昭和23)年 | 新学制による法政大学第一中・高等学校を開校 | 2007 (平成19)年 | 法政大学中学高等学校として三鷹市牟礼に移転 |
| 1971 (昭和46)年 | 高校、服装の自由化を実施 | | 男女共学化・中学4クラス、高校6クラスの体制を開始 |
| 1986 (昭和61)年 | 創立50周年記念式典、記念会館竣工 | | 新カリキュラム導入 |